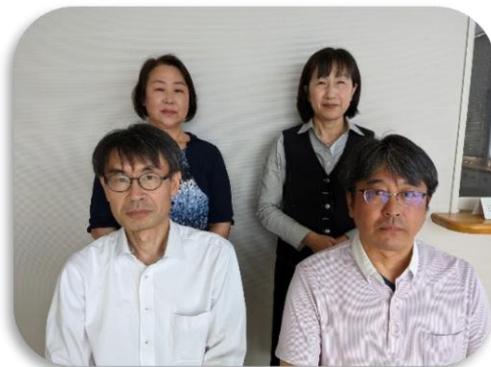


事務 Tea Time

ごあいさつ

令和3年度も3か月が経ち、協議会活動が活発と
なってきました。

さて、今年度第1号の会報「事務 Tea Time」に
会長・副会長よりごあいさつをいただきました。



後列左より 八楯副会長 成澤副会長
前列左より 井上会長 山路副会長

会長 井上 元 山形市立第一中学校

今年度、会長を仰せつかりました。微力ではありますが、精一杯務めさせていただきますので、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度から新たな研究テーマ「築き上げよう！ 子どもの豊かな学びと育ちを支援する学校事務」～山形っ子の笑顔のために、ともに かかわり つなぐ～を掲げました。「ともに かかわり つなぐ」は、協議会の研究ビジョンである「やまがた花笠プラン」の基本理念です。これまでは、ともに（協働）かかわり（連携）に重きを置いた研究活動を進めてきました。これからは、つなぐ（調整と継承）に重きを置いた研究活動を進めていきます。これまで築いてきた実績を基盤にし、チーム学校の一員として思いを共有しながらともに、家庭・地域・教育機関・福祉行政機関とかかわり、学校・家庭・地域をつなぐ、そして先輩から後輩へと思いをつなぐ山形県の学校事務を築き上げていきたいと思っております。

これから力を入れていきたい取組はまず、「共同実施」です。3年目となる「モデル校における学校事務の連携・共同実施」の取組について、各モデル校の実践を集約し、検証します。そして、「共同学校事務室」の制度化へ向けた取組へつないでいきます。もう一つは、「地域協働の研究」です。今年度、「子どもの未来を創造する地域協働」を大会テーマとする全国事務研究大会が埼玉県で開催され、協議会の研究部がレポート発表を行います。地域協働を推進していくために学校事務職員はどのような役割を果たしていけば良いのか、そして、地域と学校をどのようにつないでいけば良いのか研究を進めているところです。

このような中長期的目標や喫緊の課題に取り組み、成果を得るためには、県内の学校事務職員が一枚岩になることが不可欠です。特にコロナ禍のなかで、前例のない対応を余儀なくされた昨年度は、このことを痛感しました。私たち山形県の学校事務職員は、どのような状況下でも、各々の個性を尊重し合い、誰一人孤立せず、「専門性」「主体性」「積極性」を高めながら一つにつながり、一枚岩となって子どもの豊かな学びと育ちを支援していきましょう。山形っ子の笑顔のために。

副会長 山路 弥 川西町立小松小学校



引き続き副会長の大役を仰せつかり、4年目となりました。山路 弥(やまじ わたるみ)と申します。協議会活動が円滑に進むよう、精一杯尽力する覚悟ですが、なにぶん力不足ですので、皆様の温かいご支援が頼りです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、「夏季研修会でお会いしましょう」と年度末の会報に書かせていただきましたが、今年度も夏季研修会は開催できないこととなりました。とても残念です。一方で新たなツールとして Zoom に代表される遠隔会議システムが身近なものになってきました。そろそろ本腰を入れて、この新しいツールを使いこなせるよう、スキルを身に付けなければならないと思い始めています。定年退職まであと数年ですが、新しいものに対する『臆病の壁』を越えたいと思います。型があるから、型破り。型がなければ形無し。型を超えてできることにチャレンジしてみようと思います。どなたか、こちらもどうぞお力添えくださいませ。

副会長 成澤 早苗 鶴岡市立藤島小学校



やまがた花笠プラン Revision2019 が完成し、本校の校長に手渡して言われたことがあった。「職種や経験年数を生かし、みんなの声に耳を傾け、対話をとおした環境づくりに努めます」との一文に対して「対話が大切だよの～。思いがあってもしゃべねばわがらねし、自分だけの一方的な思いだと相手に分かってもらえないこともある。」とのことだった。学校にはいろいろな職種の間がある。グラウンドに早いうちに除草剤を散布したい技能士と、授業や子どもの活動を優先したい教員をつなぐ事務職員でありたいと思っている。真ん中にいつも「子ども」がいることを意識し、迷った時には子どものためにどうするのがいいの、立ち止まって考えたい。コロナ禍の協議会活動も2年目。知恵を出し合い工夫しながら新しい形の研修に挑戦する1年にできればと思う。「子ども」が真ん中にいることを忘れずに。

副会長 八鍬 悦子 新庄市立日新中学校



4月から11年ぶりに中学校へ勤務しています。初めての事務室、そして初めての2人体制。以前、「事務職員は一人で何でもやってきたから他人と一緒に仕事をするのが苦手」とお聞きしていました。どんな方と組むのか、どういう割り振りをするのか、この年になってこんなに緊張する転勤があるのかというぐらい緊張しました。

結果、こんなに楽しく仕事ができるんだ！と思っています。今までやっていた業務はそのまま続けていただきながら、私も同じように取り組めるよう覚えていく予定です。相談相手が見つかるそばに、私にはとてもありがたく、恵まれているなと感じます。

今年度より副会長を務めさせていただきます。私では力不足かと思いましたが、お引き受けしたからには、「やまがた花笠プラン」改定プロジェクトの時のような情熱を持って取り組みたいと思います。よろしくお願いいたします。



今年もマスク姿で1枚！



令和3年度 研究のすすめ方

1 研究テーマ（新規）

築き上げよう！子どもの豊かな学びと育ちを支援する学校事務

～ 山形っ子の笑顔のために、ともに かかわり つなぐ ～

学校教育目標の達成をめざして



2 活動の柱

キーワード 「専門性」「主体性」「積極性」

(1) 研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を指針として、全会員が一丸となって研究活動を進め、校務運営に参画する機会を一層拡大し、財務・総務等に通じる専門職としての役割を主体的・積極的に果たしていきます。

① 研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を学び合い、理解を深め、研究及び実践に意欲的に取り組みます。

(2) 3年目となる「モデル校における学校事務の連携・共同実施」の取組について、各モデル校の実践を集約し、検証します。あわせて「共同学校事務室」の制度化に向けて継続して取り組みます。

① 「令和3年度モデル校における学校事務の連携・共同実施」について、各地区からモデル校事業に積極的に参加し、実践に取り組みます。

② 各地区で実施している「共同実施」の充実を図り、協議会が提案した「共同学校事務室実施要綱（案）」「共同学校事務室業務要綱（案）」の実現に向けて、継続的に働きかけていきます。

③ つかさどる職としての学校事務職員を、全市町村教育委員会の管理規則へ確実に位置づけられるように働きかけていきます。

(3) 夏季研修会・秋季セミナー・ブロック研究会を開催し、全会員の資質向上を図り、学校経営の一翼を担う学校事務職員としての専門性を深めます。

① 「第3期中期研修計画」に基づき、講師を招聘した研修会・セミナー・研究会を実施し、会員一人一人が学校事務職員として必要な力を身につけられるようにします。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、会員が参集する研修会・セミナー・研究会を実施すべきでないと判断した場合は中止し、参集しなくとも資質向上を図ることができる手立てを講じます。

(4) 若手事務職員の育成に努めます。

① 新規採用者・欠員補充者の増加に伴う研修・支援について、県教育委員会が任命権者として責任を持って、研修の拡充・支援体制の整備を行うよう今後も引き続き強く要望していきます。

② 共同学校事務室での支援体制がより有効であることを県教育委員会、教育事務所に引き続き伝えていきます。



(5) 専門部活動

各専門部は、協議会活動方針のもと、他の専門部や事務局との連携を図り、主体的に活動します。

① 企画研修部

・「第3期中期研修計画」に基づき、令和3年度の夏季研修会・秋季セミナーを企画・運営します。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、会員が参集する夏季研修会・秋季セミナーを中止とした場合は、参集しなくとも可能な研修を検討します。

・「第3期中期研修計画」に基づき、令和4年度以降の研修を検討します。

② 研究部

・令和3年度「第53回全国公立小中学校事務研究大会埼玉大会」の分科会担当県として、分科会の企画・運営とレポート発表に取り組みます。

・令和4年度「第24回東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会」でのレポート発表準備を進めます。

・「モデル校における学校事務の連携・共同実施」について、各地区における参加の状況や取組の内容を集約し、検証します。

③ 情報部

・学校事務WEBサイトの維持・更新を行います。他の専門部・事務局と連携し、情報の収集と提供に努めます。

・昨年度に引き続き2名の協力員を得て、ライブラリの様式を整理します。

④ 3つの専門部の協働による活動

・各地区・会員個人の実践や研究を募集・収集し(研究部)、中期研修計画に合わせて整理し(企画研修部)、学校事務WEBサイトに掲載します(情報部)。県全体で実践や研究を共有することで、会員が学ぶための環境を整えていきます。

(6) 全国公立小中学校事務職員研究会・東北地区公立小中学校事務職員研究協議会を通して、全国及び東北との交流を深めていきます。

① 全国・東北の研究団体と連携し、様々な情報交換を行い、最新の情報や研修会等の案内を会員へ発信し、学ぶ機会を提供していきます。

(7) 県教育委員会・教育事務所等の各教育関係機関及び、県校長会・県教頭会等の各教育関係団と協議会役員との定例懇談会を開催し、相互理解と協議会活動の推進を図ります。

① 学校事務職員を希望する優秀な人材を幅広く求めるために、大卒者を受け入れるよう採用制度の改正と昇任基準の明確化について働きかけていきます。

② 教育機関内に学校事務職員の職務や研修を専門に担当する職を設置することについて働きかけていきます。

③ 学校事務職員の人事評価基準について、職位に応じたものとなるよう理解と協力を求めています。

④ 令和3年度より、学校事務職員も県教育センターにおける専門研修を受講できるようになりましたが、それにあわせて教員を対象とした研修講座の概要(基本方針)を、全教職員を対象とするものに改正することと、学校事務に関する新たな研修講座の開設を求めています。

(8) 今後の協議会運営を見据え、協議会の事業内容の見直しや適正な予算について、「事業等検討委員会」を立ち上げて検討していきます。

① 山形県事務職員きょうれい会に対する、きらやか銀行からの研究助成が令和3年度で終了することに伴い、令和4年度以降の山形県事務職員きょうれい会の在り方と協議会の事業内容や予算について検討します。

各専門部より



「企画研修部」「研究部」「情報部」

～3つの専門部の活動計画です～

左から 柴田情報部長 鈴木研究部長 矢野企画研修部長

企画研修部 部長 矢野由紀 山形市立みはらしの丘小学校

1 活動目標

山形県の事務職員一人一人が「主体的に考え、発信力・提案力を身に付ける」研修を企画する

2 活動方針

目標を達成するために、何ができるのかを意識しながら

- ①やまがた花笠プランを根底に置き、第3期中期研修計画に基づいた研修の企画・運営を行う。
- ②主体的に考え意見交換を重ねることで、より良いものを練り上げ創り出していく。
- ③部員一人一人が、研修の在り方についてより深く考え、提案する力を身に付けていく。

3 活動内容

- ①秋季セミナーの企画・運営を行う。
- ②研究部・情報部と協力して実践募集の取り組みを行い、会員の学びの環境づくりを進める。
- ③研修についての理解を深め、次年度以降の研修内容について検討する。



4 今年度の活動内容と日程

開催日時	活動項目	活 動 内 容
6月8日	第1回 企画研修部会	○今年度の活動について ○部内役割分担
7月	第2回 企画研修部会	○秋季セミナーの企画運営について ○実践募集の取り組みについて
10月	第3回 企画研修部会	○秋季セミナーの企画運営について ○実践募集の取り組みについて
11月26日	秋季セミナー	○秋季セミナーの企画運営
12月	第4回 企画研修部会	○秋季セミナー総括 ○次年度以降の研修について
2月	第5回 企画研修部会	○令和3年度活動総括 ○令和4年度活動内容検討 ○令和4年度研究大会・秋季セミナーについて

※新型コロナウイルス感染症の状況により、計画を変更することがあります。



1 活動について

- ①令和3年度 全事研埼玉大会の分科会を担当し、研究発表に向けた準備を進める。
- ②令和4年度 東北事務研究大会福島大会における研究発表に向けた準備を進める。
- ③各地区の共同実施の状況を情報収集し、検証していく。
- ④会員・各地区における実践を募集する。→企画研修部・情報部と連携し取り組む。

2 研究体制

- ①研究発表プロジェクト：全事研埼玉大会の研究発表に向けた準備を進める。
東北事務研究大会福島大会の研究発表に向けた準備を進める。
- ②研究推進プロジェクト：各地区の共同実施の状況を情報収集し、検証していく。

3 活動計画

実施月日	活動項目	研修内容
6月4日	第1回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究経過これからの研究計画について ・今年度の研究体制について ・全事研埼玉大会研究集録原稿の検討 ・会員・各地区における実践募集について
7月13日	第2回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全事研埼玉大会研究集録原稿の検討 ・共同実施に関するアンケートの作成 ・会員・各地区における実践募集について
9月	第3回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全事研埼玉大会研究集録発表内容の検討 ・共同実施に関するアンケートの作成、確認
10月	第4回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全事研埼玉大会研究集録発表内容の検討 ・東北事務研究大会福島大会研究発表内容の検討 ・共同実施に関するアンケートの考察
12月9日	第5回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会・理事会報告 ・全事研埼玉大会研究集録発表内容の検討 ・東北事務研究大会福島大会研究発表内容の検討 ・共同実施に関するアンケート報告書の作成
2月	第6回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・東北事務研究担当者会報告 ・今年度のまとめ ・全事研埼玉大会 反省 ・東北事務研究大会福島大会研究発表内容の検討 ・共同実施の状況について

* 東北地区研究担当者会 令和3年6月（書面開催）令和4年2月（部長、仁科参加予定）

1 活動目標

全会員に必要とされる山形県学校事務 WEB サイトを運営する

2 活動方針

- ①安定した運営と事務局・各専門部・地区との連携を念頭に置いた活動を行う。
- ②よりアクセスしてもらえるサイトの運営・更新を行う。
- ③情報の発信・収集を行う。

3 具体的な活動内容

- ①コンテンツの深化と精選に努める。
 - ・更新の効率化を求めながら、よりアクセスしていただくための工夫を考えていく。
 - ・掲載内容を検討し、状況によりメニューの精選、利活用を図ることを随時念頭に置く。
- ②メールマガジンを積極的に利用し、情報発信を行っていく。
 - ・メールマガジンは直接会員の手元に届くため、迅速且つ確実な情報伝達手段の一つである。事務局や専門部、各地区と連携し、多くの情報を発信していく。依頼により臨時便にも対応する。
- ③地区との連携強化を図る。
 - ・ブロック選出情報部員の活動重点として、それぞれの地区の情報収集及び WEB サイトでの広報を通じ、地区に密着した活動を行う。
 - ・WEB サイトについて不明な点があった場合等、適切なフォローを行う。
 - ・理事の方にも例年同様、原稿依頼や連絡事項の周知徹底について協力を依頼する。
- ④学校事務ライブラリの様式更新を、情報部員と協力員2名で行う。
- ⑤ホームページのリニューアルを行う。
- ⑥実践募集を研究部、企画研修部と連携して取り組む。

4 今年度の活動と日程（新型コロナウイルス感染症の状況により中止や変更あり）

第1回情報部会（紙上）

第2回情報部会（6月）

- ・今年度の組織と活動について
- ・グループ別会議

第3回情報部会（10月）

- ・これまでの活動と今後の活動について
- ・グループ別会議

第4回情報部会（1月）

- ・これまでの活動と今後の活動について
- ・次年度の活動について
- ・グループ別会議



山形県公立小中学校事務職員研究協議会 役員

役職名	氏名	所属校	備考
会長	井上 元	山形市立第一中学校	
副会長	山路 弥	川西町立小松小学校	
	成澤 早苗	鶴岡市立藤島小学校	
	八鍬 悦子	新庄市立日新中学校	
企画研修部長	矢野 由紀	山形市立みはらしの丘小学校	
研究部長	鈴木 善文	鶴岡市立湯野浜小学校	
情報部長	柴田 由香	村山市立大久保小学校	
監事	日塔 弥江子	山形市立第七小学校	
	斎藤 恵美子	山形市立第六中学校	
事務局長	真下 久美子	山形市立蔵王第一中学校	
事務局次長	太田 洋子	山形市立金井小学校	
事務局員	川崎 聡	舟形町立舟形小学校	
	荒木 有美子	山形市立第十小学校	
	鎌田 佳奈	山形市立明治小学校	
	三浦 佳楠子	天童市立蔵増小学校	
	門脇 千夏	舟形町立舟形中学校	
	織田 裕介	戸沢村立戸沢学園	
顧問	新宮 利浩	寒河江市立高松小学校	

県協議会理事 / 県学校事務部会地区委員

地区名	小学校			中学校		
	氏名	所属校	備考	氏名	所属校	備考
山形	田苗 朋子	南沼原小		尾関 裕美子	山形五中	
上山	千原 美紀子	宮川小	代表理事	我妻 篤	上山北中	
東村山	鈴木 千奈	山辺小		安孫子 里佐	天童四中	
西村山	大泉 民子	谷地中部小		熊坂 綾子	陵南中	
北村山	高橋 美香子	大森小	代表理事	宗片 律子	東根一中	
最上	伊藤 久美子	金山小		浅沼 拓	新庄中	
米沢	鈴木 保子	米沢東部小		遠藤 洋	米沢一中	
東置賜	高梨 善克	中郡小		鈴木 かおり	赤湯中	代表理事
西置賜	安部 容子	飯豊一小		仁科 佳代子	長井北中	
田川	渡部 和恵	あつみ小		工藤 勝喜	羽黒中	代表理事
酒田 遊佐	伊藤 芳子	浜中小		高橋 真由美	鳥海八幡中	
	石垣 智子	遊佐小				

企 画 研 修 部

地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
山 形	矢野 由紀	みはらしの丘小	部長				
西置賜	安部 容子	飯豊一小	研究協力者				
山 形	結城 明子	南沼原小	研究協力者				
村 山	山 形	佐藤 章子	桜田小	置 賜	米 沢	江口 成美	米沢五中
	上 山	千原 美紀子	宮川小		東置賜	色摩 英美子	宮内小
	東村山	高橋 杜於	相模小		西置賜	鈴木 美久	長井小
	西村山	岩淵 満里子	本郷東小	庄 内	田 川	小林 恵美	京田小
最 北	北村山	岡崎 いずみ	村山戸沢小		酒 遊	田 佐	三浦 勝
	最 上	長南 敦湖	真空川あさひ小				

研 究 部

地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
田 川	鈴木 善文	湯野浜小	部長				
酒田遊佐	仲川 美幸	藤崎小	研究協力者				
米 沢	鈴木 保子	米沢東部小	研究協力者				
山 形	鈴木 綾	山形四小	研究協力者				
村 山	山 形	浅田 直美	本沢小	置 賜	米 沢	狩野 久美子	万世小
	上 山	我妻 篤	上山北中		東置賜	伊藤 智美	赤湯小
	東村山	阿部 優紀	干布小		西置賜	仁科 佳代子	長井北中
	西村山	安達 千穂	醍醐小	庄 内	田 川	菅原 隆	藤島中
最 北	北村山	土屋 恵美	大富小		酒 遊	田 佐	長谷川 稔
	最 上	新田 洋美	萩野学園				

情 報 部

地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
北村山	柴田 由香	大久保小	部長				
東村山 (会長委嘱)	笹 廣祐	荒谷小	Web Master				
北村山 (会長委嘱)	田苗 欣也	東郷小	東置賜 (会長委嘱)	嶋貴 知子	宮内中		
北村山 (会長委嘱)	加藤 亜希子	富本小	置 賜	東置賜	小沢田 光生	梨郷小	
村 山	山 形	青柳 涼子		山形七中	西置賜	佐藤 健太	叶水中
	西村山	堀江 実桜	西川中	庄 内	田 川	石井 理恵	立川中
最 北	北村山	駒林 ななか	西郷小		酒 遊	田 佐	石垣 聡
	最 上	菅 祐子	明倫学園				

ねっとわ〜く from 小国町

小国町は山形県の南西部、新潟県の県境に位置する人口約7千人の町です。広大なブナの森、全国有数の豪雪地帯として、美しい四季のうつろいを見られることも特徴です。ブナと雪からイメージされる「白」を基に町全体のことを「白い森」と表現しています。そんな美しく豊かな白い森、小国町をご紹介します。

かいらぎそう
〈梅花皮荘前の残雪桜〉



梅花皮荘前の桜公園は隠れた桜の名所。気温や降雪の条件が整うと、4月下旬から5月上旬に残雪に咲く桜が見られます。

あかしはきょう
〈赤芝峡〉



国道113号線沿いにある「赤芝橋」。紅葉の季節には真っ赤に色づいた遊歩道を散策してみてもいかがでしょうか。

ぬくみだいら
〈温身平（森林セラピー基地）〉



飯豊連峰のふもとに位置する「温身平」。ブナの森での森林セラピーで癒やしのひとときをどうぞ！

よこね
〈横根スキー場〉



道の駅「白い森おぐに」に隣接するスキー場は、スノーボードのハーフパイプコースも完備しています。

〈小国町のアンテナショップがオープンしました！〉

今年、仙台市と新潟市に「白い森おぐにサテライトアンテナショップ」がオープンしました。

山菜、きのこ、岩魚、やまがた地鶏など小国自慢の特産品がそろっています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

